

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質・性能									<b>2.7</b>		
Q-1 室内環境							<b>0.40</b>		<b>2.9</b>		
1 音環境									<b>2.3</b>		
1.1 騒音							<b>1.8</b>	0.15	<b>2.5</b>	1.00	
1 暗騒音レベル							<b>1.0</b>	0.40	<b>1.0</b>	0.29	
2 設備騒音対策							1.0	1.00	1.0	1.00	
1.2 遮音							<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.50	
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能							-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音							<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.21	
2 温熱環境							<b>1.0</b>	0.35	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.1</b>
2.1 室温制御							<b>1.0</b>	1.00	<b>3.8</b>	1.00	
1 室温設定							-	-	3.0	0.60	
2 換気・加湿・除湿制御性							-	-	-	-	
3 外皮性能					W		1.0	1.00	5.0	0.40	
4 ゾーン別制御性							-	-	-	-	
5 温度・湿度制御							-	-	-	-	
6 個別制御							-	-	-	-	
7 時間外空室に対する配慮							-	-	-	-	
8 監視システム							-	-	-	-	
2.2 湿度制御							-	-	-	-	
2.3 空調方式							-	-	-	-	
3 光・視環境							<b>1.7</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.1</b>
3.1 昼光利用							<b>1.8</b>	0.30	<b>4.1</b>	0.50	
1 昼光率							1.0	0.60	4.0	0.50	
2 方位別開口							-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備					W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
1 透明部材のグレア							-	-	-	-	
2 昼光制御					W		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度							<b>1.0</b>	0.15	-	-	
1 照度							1.0	1.00	-	-	
2 照明の配置							-	-	-	-	
3.4 照明制御							<b>3.0</b>	0.25	-	-	
4 空気環境							<b>2.6</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
4.1 発生源対策							<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学物質汚染							3.0	1.00	3.0	1.00	
2 化学物質対策							-	-	-	-	
3 デコ・カビ等							-	-	-	-	
4 レジオネラ対策							-	-	-	-	
4.2 換気							<b>2.0</b>	0.40	<b>2.6</b>	0.38	
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能							-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮							1.0	0.50	1.0	0.33	
4 給気計画							-	-	-	-	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視							-	-	-	-	
2 喫煙の制御							-	-	-	-	
Q-2 サービス性能							-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
1 機能性							<b>2.2</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00	<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ							<b>3.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性							-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応							3.0	1.00	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画							-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性							<b>1.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観							-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-	-	-	-	
3 内装計画							1.0	1.00	1.0	0.50	
2 耐用性・信頼性							<b>2.8</b>	0.31	-	-	<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震							<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性							3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							<b>2.8</b>	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W		4.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W		2.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔					W		3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔					W		2.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新							-	-	-	-	
1 床・(床下)・外壁仕上げ材の更新							-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新							-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新							-	-	-	-	
2.4 信頼性							<b>2.6</b>	0.19	-	-	
1 空調・換気設備							3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備							3.0	0.20	-	-	
3 電気設備							3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法							1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備							3.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>2.6</b>	0.29	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.1</b>	
3.1 空間のゆとり										
1 階高のゆとり				階高2900mm以上。			<b>3.6</b>	0.50		
2 空間の形状・自由さ							4.0	0.60		
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.40		
3.3 設備の更新性							<b>3.0</b>	0.50		
1 空調配管の更新性					2.6	1.00				
2 給排水管の更新性					2.0	0.17				
3 電気配線の更新性					2.0	0.17				
4 通信配線の更新性					3.0	0.11				
5 設備機器の更新性					3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22				
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>									<b>2.2</b>	
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.40			3.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			2.0	0.20			2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.40			1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		2.0	0.50				
3.2 敷地内温暖環境の向上	W	G			1.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.3</b>	
<b>LR-1 エネルギー</b>									<b>4.5</b>	
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能評定基準の省エネルギー対策等級4を満たしている	5.0	0.40			5.0	
2 自然エネルギー利用					2.5	0.20			2.5	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				2.0	0.50				
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50				
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型の給湯設備を使用している。	5.0	0.40			5.0	
4 効率的運用										
4.1 モニタリング	W									
4.2 運用管理体制	W									
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>									<b>2.8</b>	
1 水資源保護					3.0	0.15			3.0	
1.1 節水	W				3.0	0.60				
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40				
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67				
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33				
2 低環境負荷材					2.8	0.85			2.8	
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35				
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67				
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33				
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				2.0	0.04				
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08				
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18				
2.5 部材の再利用可能性	W				3.0	0.18				
2.6 フロン・ハロンの回避					3.5	0.18				
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50				
2 断熱材	W				3.0	0.50				
3 冷媒	W									
<b>LR-3 敷地外環境</b>									<b>2.4</b>	
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10			3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05			3.0	
2.1 騒音					3.0	1.00				
2.2 振動										
2.3 悪臭										
3 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.10			1.6	
3.1 風害の抑制					1.0	0.70				
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30				
4 光害の抑制				「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている	5.0	0.05			5.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30			1.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.3	0.40			3.3	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30				
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10				
6.3 交通負荷抑制			S	十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.30				
6.4 廃棄物処理負荷	W				3.0	0.30				

LR-1 用途別点表		集合住宅				面積積分
		4,720 m <sup>2</sup>				総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0				5.0
3	設備システムの ERRIによる評価					5
	高効率化 個別設備による評価	5.0				
3.1	空調設備					
3.2	換気設備					
3.3	照明設備	5.0				
3.4	給湯設備	5.0				
3.5	昇降機設備					